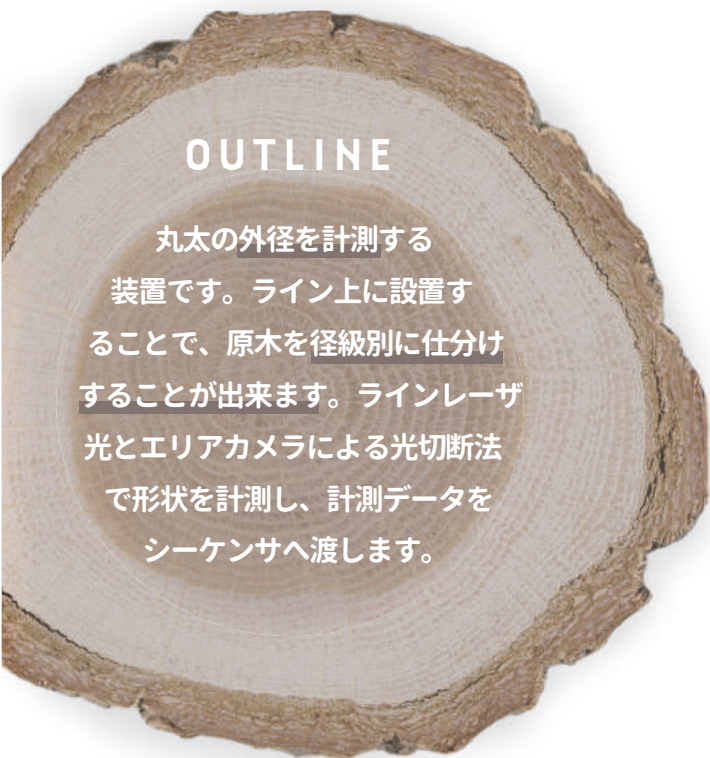


Log scanner



OUTLINE

丸太の外径を計測する装置です。ライン上に設置することで、原木を径級別に仕分けすることができます。ラインレーザー光とエリアカメラによる光切断法で形状を計測し、計測データをシーケンサへ渡します。

01 日本製でメンテナンスが安心

海外製で困りがちなメンテナンス等の点についても、日本製なのでより安心してお使いいただけます。

02 多様な計測項目

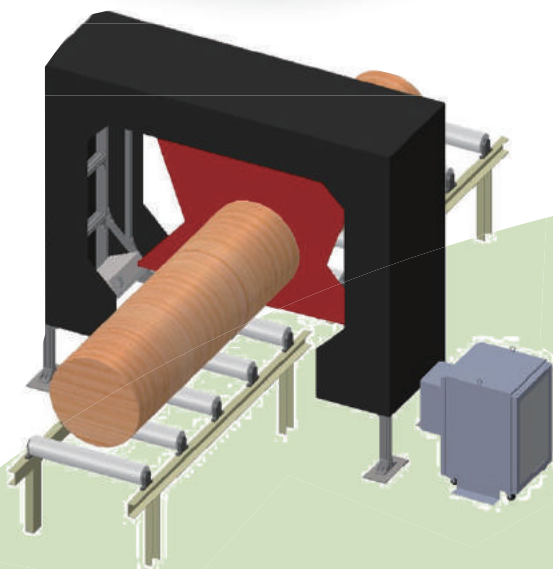
- ・径級 (mm)
- ・原木長 (mm)
- ・JAS 石 (m3)
- ・曲がり (mm)
- ・実体積 (m3)
- ・スクリブナー
- ・テーパ (mm/m)
- ・カット実材積 (m3)
- ・元口末口の判定

※一例です。ご要望に沿って仕様は変更可能です。

03 計測データの蓄積・共有が可能

計測したデータは CSV ファイルで自動保存するため、材の管理・受け入れ検査に利用するなどデータの追跡が可能です。

また、計測データを利用した独自のシステムを作ることも可能です。(例:「末口元口の判定結果」によって最適な木材カットのオペレータにデータを振り分ける、等)



セット内容

アルミフレームボックス	1セット
センサユニット	4台
PC ラック (クーラー付き)	1台
PC	1台

※上記は一例です。仕様によって変わります。

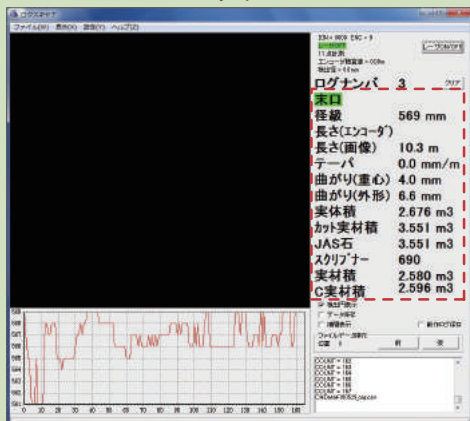
仕様

計測項目	・径級 (mm)・原木長 (mm)・JAS 石 (m3) ・曲がり (mm)・実体積 (m3)・スクリブナー ・テーパ (mm/m)・カット実材積 (m3) ・元口末口の判定
測定範囲	Φ50mm 以上 ※これより小さいものはご相談ください。
サンプリング速度	15 f/s (フレーム / 秒)
電源	・センサユニット・パソコン 単相 100V
寸法	・アルミフレームベース W3,100×D950×H2,900 ・PC ラック (クーラー付) W600×D890×H1,000

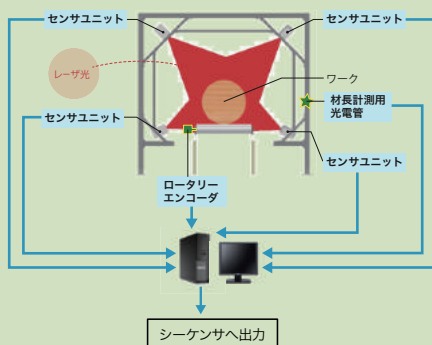
※上記は一例です。仕様によって変わります。

計測後の画面

ワークが流れ終わった時
▶直前の計測結果を表示



ブロック図



日本システムデザイン

[https:// jsdkk.com /](https://jsdkk.com/)



動画も ▶

Webでもっと詳しく ▶ TOP ページ > 製品一覧 > ログスカナ

